

IJCAD Network License Manager

セットアップマニュアル



* * *

改訂履歴

2024.02.01 IJCAD NLM セットアップマニュアル 初版発行

目次

1. インストールの前に

- 1-1. 動作環境----- 1
- 1-2. 注意事項----- 1
- 1-3. インストールの準備 ----- 2
- 1-4. バージョンアップ時の注意事項----- 3

2. プログラムのインストール

- 2-1. WEB からのダウンロード ----- 4
- 2-2. DVD からの読み込み ----- 5
- 2-3. インストール ----- 6

3. ライセンスの登録

- 3-1. シングルライセンスサーバー ----- 8
- 3-2. 冗長型ライセンスサーバー（サーバーの設定） ----- 13
- 3-3. 冗長型ライセンスサーバー（クライアントの設定） ----- 16

4. ライセンスの移行

- 4-1. シングルライセンスサーバーの返却 ----- 18

5. ライセンスの修復

- 5-1. 修復手順----- 21

6. タイムアウトの設定

- 6-1. タイムアウトについて ----- 25
- 6-2. タイムアウトの時間の設定方法 ----- 25

7. ライセンス超過時の処理

- 7-1. ライセンス超過時の処理について ----- 28
- 7-2. ライセンス超過時の挙動の設定方法 ----- 28

8. プログラムのアンインストール

- 8-1. アンインストールの前の注意 ----- 31
- 8-2. アンインストール手順 ----- 31

9. サブスクリプションライセンスについて

- 9-1. サブスクリプションライセンスの登録 ----- 33
- 9-2. サブスクリプションライセンスの返却 ----- 33

1. インストールの前に

製品ソフトウェアをインストールする前に以下の内容を必ずご確認ください。

1-1. 動作環境

IJCAD ネットワークライセンスマネージャーをご使用いただくためには、以下の動作環境が必要です。

対応 OS (仮想 OS は対象外)

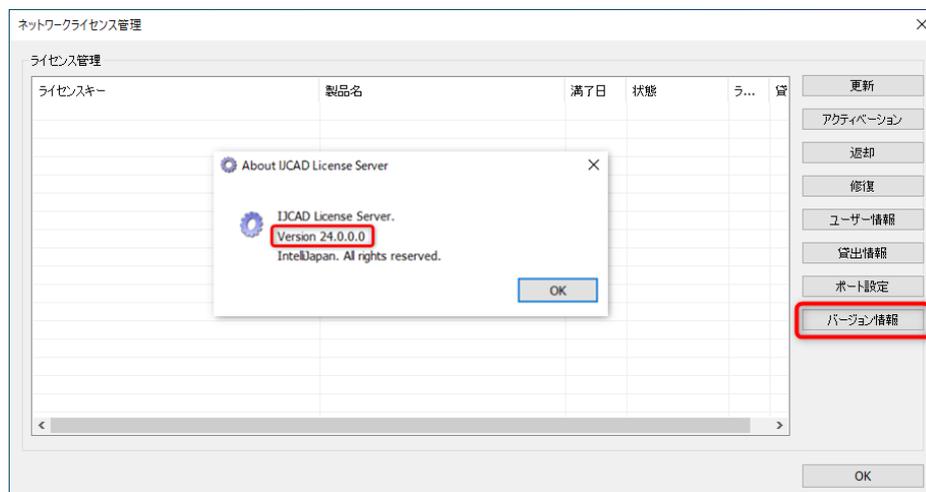
Windows Server 2016
Windows Server 2019
Windows Server 2022

※ ご使用いただくサーバーマシンのスペックは各 OS の動作環境に準拠します。
※ 旧 Ver 4.0(2017/2/1 公開版)より、64bit 版に対応しました。
OS と異なる bit 数のライセンスマネージャーは、インストールできないように制限されています。OS と同じ bit 数の製品をご利用ください。

最新の対応 OS の情報は、IJCAD の WEB サイト(<https://www.ijcad.jp/>)にて公開しています。

1-2. 注意事項

- **IJCAD 2024 の製品は、Ver 24.0.0.0 (2024/02/01 公開版) のネットワークライセンスマネージャーでのみ使用できます。**
IJCAD 2024 の製品をご使用いただく場合は、最新のネットワークライセンスマネージャーをご利用ください。



- 他製品のライセンスマネージャーがインストールされているマシンに、本製品をインストールする場合は、使用するポートが重ならないように設定してください。
また、本製品のインストールを行う際は、他製品のライセンスマネージャーを再起動する必要があります。
- 他の製品(AutoCAD 等) と同一のサーバーにおける稼働はサポート対象外です。
- 冗長型ライセンスサーバーを選択された場合は、ネットワークライセンスの貸出機能はご利用になれませんのでご注意ください。
- LMTTOOLS 等のツールに関する詳細は、【IJCAD NLM 運用マニュアル】をご参照ください。
- NIC チーミングには対応していません。
- LAN カードが 2 枚ある場合は、インストール～アクティベーションまでの間使用しない方のカードを無効にしてください。

1-3. インストールの準備

- ライセンスの登録を行う際は、メールでお送りした PDF ファイルに記載されているライセンスキーが必要になります。
また、DVD にてインストールを行う場合は、インストール用 DVD をご用意ください。
- インストールには「**管理者(システムアドミニストレーター)**」権限が必要です。
- 本製品は、ポートを 2 つ使用します。
※ 他のアプリケーションで使用されているポートは使用できません。
FlexNet Licensing を使用しているアプリケーション（例：AutoCAD）ではデフォルトで同じポートが設定されている可能性がありますのでご注意ください
- **使用するポートがファイヤーウォール等でふさがれている場合は、開放しておく必要があります。**
※ ポート 1 は (TCP:27000~27009) のいずれか 1 つ、
ポート 2 は (TCP:1024~64000) のいずれか 1 つを設定します。
※ 受信ポートと送信ポートの両方で開放が必要です。

1-4. バージョンアップ時の注意事項

本製品のバージョンアップを行う場合は、一度旧バージョンをアンインストールした後に、バージョンアップ版のインストールを行います。

旧バージョンのアンインストールを行う前に、インストールフォルダに格納されている以下の定義ファイルのバックアップを必ず行ってください。

- ※ インストールフォルダのデフォルトのパスは、「C:¥IJCAD NetWork License Manager」です。
- ※ 旧バージョンの[licfile.lic] は、Ver4.0（2021/05/01 公開版）から [settings.lic] に変更されました。
旧バージョンから移行する際は、[licfile.lic]の名前を[settings.lic]に変更してください。

• gstarlms.opt	オプションファイル（存在しない場合があります）
• userset.ini	ユーザ定義ファイル（旧 Ver 1.5 より追加されました）
• settings.lic	ポートの設定ファイル
• liclog.log	ログファイル

バージョンアップ版をインストールした後、インストールフォルダ内に上記のファイルを上書きしてください。

2. プログラムのインストール

プログラムは、IJCAD サイトよりダウンロードとなります。

外部ネットワークに接続できない環境でご利用いただく場合や、ダウンロード以外の方法でプログラムの入手をご希望の場合は、別売りのインストール DVD をご利用ください。

WEB ページからインストールを行う場合と、DVD からインストールを行う場合では、操作手順が異なります。

それぞれの手順については、以下をご参照ください。

WEB サイトからのインストール方法

- ① 『[2-1. WEB からのダウンロード](#)』
- ② 『[2-3. インストール](#)』

インストール DVD からのインストール方法

- ① 『[2-2. DVD からの読み込み](#)』
- ② 『[2-3. インストール](#)』

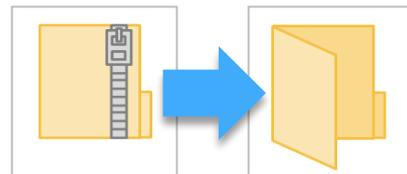
2-1. WEB からのダウンロード

① WEB サイトでファイルをダウンロード

弊社よりお送りしたご案内のメールに記載されている専用 URL より、ダウンロードページにアクセスして、インストール用のファイルをダウンロードしてください。

② ZIP ファイルを解凍

ダウンロードされたファイルは、圧縮状態の ZIP 形式のファイルです。必ず解凍を行ってください。



③ インストーラの起動

解凍後のフォルダを開きます。フォルダ内の [setup.exe] を右クリックし、管理者として実行してください。

インストーラが起動します。
『[2-3. インストール](#)』へ進んでください。



2-2. DVD からの読み込み

DVD のセットアップダイアログより、インストーラを開きます。

① DVD 読み込み

パソコンのディスクドライブにインストール DVD を挿入します。

パソコンの環境によって右のようなダイアログが表示されます。その場合は [LoadMenu.exe の実行] をクリックしてください。



② ネットワークライセンスマネージャーセットアップを開く

[ネットワークライセンスマネージャーセットアップ] のアイコンをクリックします。

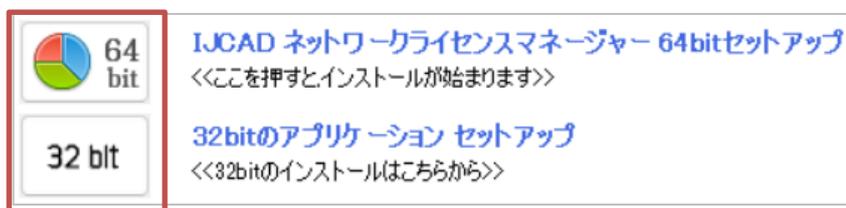


③ インストーラの起動

[IJCAD ネットワークライセンスマネージャー64bit(32bit)セットアップ] のアイコンをクリックします。

bit 数は、OS の bit 数と同じものをご選択ください。

OS と異なる bit 数のアプリケーションをインストールすることはできません。



インストーラが起動します。『[2-3. インストール](#)』へ進んでください。

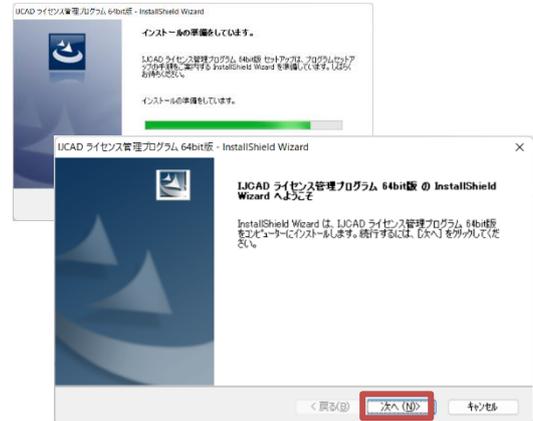
2-3. インストール

インストーラより、ネットワークライセンスマネージャーをインストールします。

① インストーラの起動

『[2-1. WEB からのダウンロード](#)』
『[2-2. DVD からの読み込み](#)』を
参照の上、インストーラを起動します。

[次へ] をクリックしてください。



② 使用許諾契約の確認

ライセンスマネージャー使用許諾契約書を
ご確認ください。

ご同意いただける場合は
『使用許諾契約の全条項に同意します』の
チェックボックスにチェックをつけて、
[次へ] をクリックしてください。



③ インストール先の選択

[参照] より、インストール先の
フォルダを選択します。

特に指定がなければ、
デフォルトの設定のまま [次へ] を
クリックしてください。

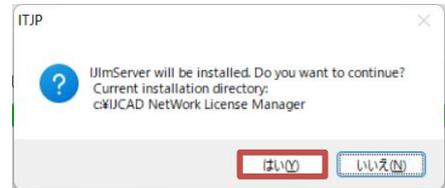
※ デフォルト指定されたフォルダ以外の
フォルダに指定を変更する場合は、必ず
ルートドライブ直下を指定してください。



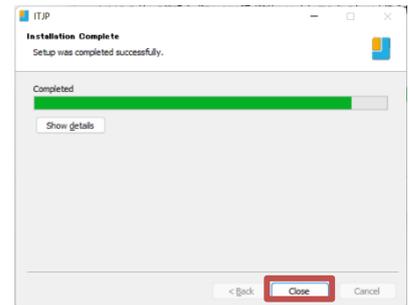
④ インストール

インストールが開始されます。

右図のようなメッセージが表示された場合は、
[はい] をクリックしてください。



「installation Complete」が表示されたら、
[Close] をクリックしてください。



⑤ 完了

完了のメッセージが表示されたら
[完了] をクリックしてください。

インストールの完了です。



3. ライセンスの登録

ライセンスの登録を行います。

現在、ネットワーク版はオンラインアクティベーションでの登録に対応していないため、メールでのご申請を行って頂く必要があります。

メールでのご申請では、混雑状況によってご返信までに 2~3 営業日お時間をいただく場合がございます。**クライアント側の IJCAD の体験版の期限にご注意ください。**
(体験版の期限が切れると図面の保存ができなくなります)

フォルダ内の下記ファイルにフルコントロール権限を付与しておいてください。

「インストール先」フォルダ

- ・ settings.lic
- ・ lmgrd.exe

「C:¥ProgramData¥IJCAD¥LmsLog」フォルダ

- ・ liclog.log

※すでに稼働中のサーバーにライセンスを追加する場合は、LMTools を停止したのち手順⑤以降の作業を行ってください。

3-1. シングルライセンスサーバー

① サーバーライセンス管理者ツールの起動

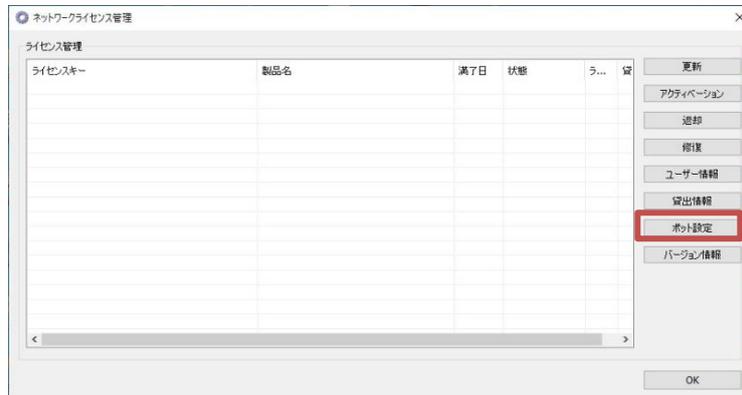
以下の手順にて [ネットワーク ライセンス管理] ダイアログを開きます。

Windows Server 2016、2019、2022 の場合

[スタート] → [IJCAD NetWork License Manager] → [IJCAD License Manager(server)] を選択します。

② ポート設定ダイアログの起動

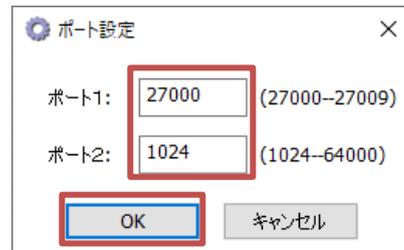
[ネットワーク ライセンス管理] ダイアログにて、[ポート設定] をクリックします。



③ ポートの設定

[ポート設定] ダイアログにてポートの設定を行います。

ポート 1	27000~27009
ポート 2	1024~64000

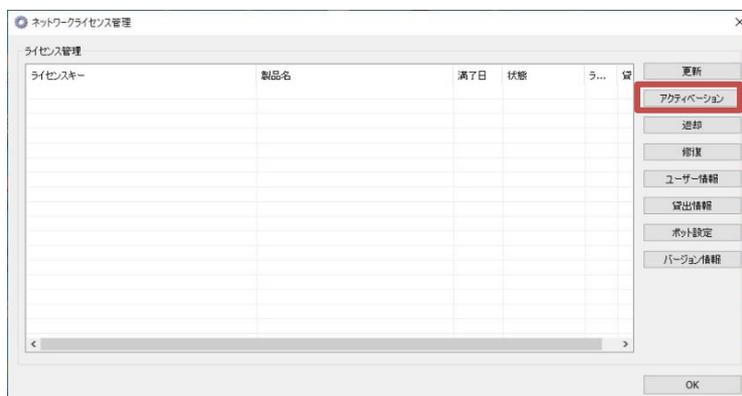


上記の範囲内の数値から、他のライセンスマネージャーやアプリケーションで使用していないポートをそれぞれ設定してください。
使用するポートがファイヤーウォール等でふさがれている場合は、解放しておく必要があります。

[OK] をクリックして決定します。

④ [ライセンスアクティベーション] ダイアログの起動

[ネットワーク ライセンス管理] ダイアログにて、[アクティベーション] をクリックします。



⑤ ライセンスキーの入力とアクティベーションファイルの出力

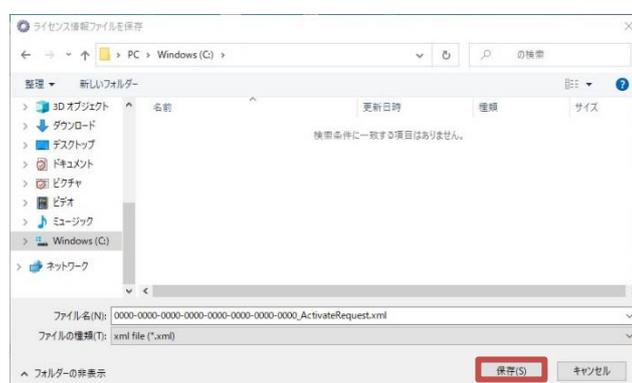
【ライセンスアクティベーション】ダイアログにて **ライセンスキー**を入力し、【エクスポート】をクリックします。



⑥ ライセンス情報ファイルの保存

ライセンス情報ファイルの保存先を選択し、【保存】をクリックします。

ファイル名の初期値は『<ライセンスキー>_ActivateRequest.xml』です。ファイル名は変更しないでください。



⑦ メールで申請

メールにて、以下の内容をインテリジャパンに送付します。

- | | |
|-------|----------|
| ・会社名 | ・シリアルキー |
| ・担当者名 | ・ライセンスキー |
| ・電話番号 | ・ライセンス数 |

以上をメール本文にご記入の上、手順⑥で保存した情報ファイルを添付して activation_support@intelli.jp までお送りください。

ご申請後は、インテリジャパンからの返信をお待ちください。

※混雑状況によってご返信までに 2~3 営業日お時間をいただく場合があります。

⑧ アクティベーションファイルの受け取り

手続きが完了次第、インテリジャパンからアクティベーションファイルがメールで送付されます。

インテリジャパンでは、アクティベーションファイルの送付をシステムより行っておりますので、ファイルが添付ファイルとして受信されず、メール本文中にリンクとして表示されます。

ファイル名は『 <ライセンスキー>-resp-svr-act.xml 』です。
ファイル名のリンクをクリックすると、ファイルのダウンロードが出来ます。

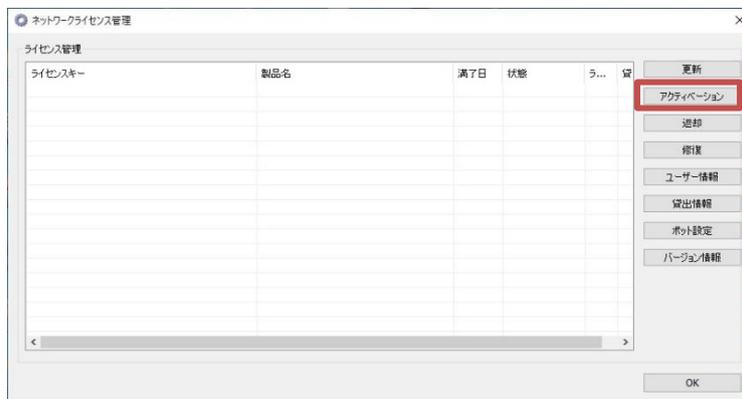
※ 最下部にある『 <ライセンスキー>_ActivateRequest.xml 』のリンクとお間違えのないようご注意ください。

- ※ 他社の FlexNet のライセンスサーバーが起動している場合、以下の手順⑨～⑬の処理を行う間は、すべてのライセンスサーバーを停止しておく必要があります。

⑨ 【ライセンスアクティベーション】ダイアログの起動

手順①と同様の手順で、スタート画面から [ネットワークライセンス管理] を開きます。

[アクティベーション] をクリックしてください。

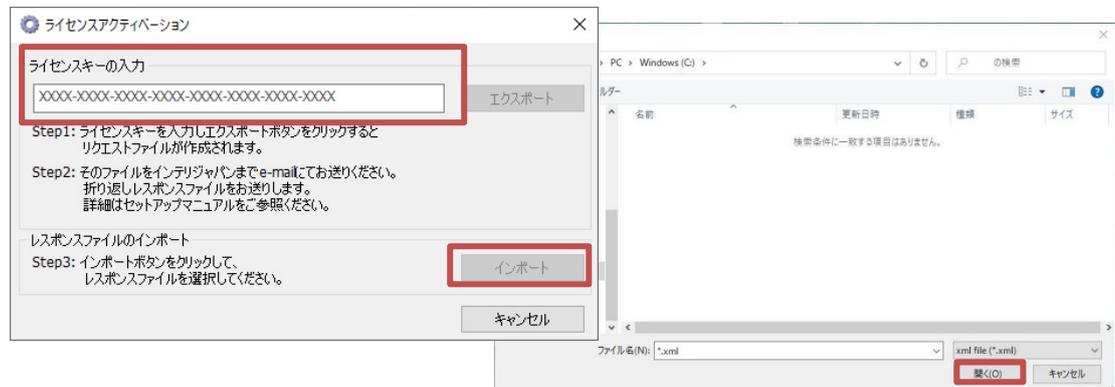


⑩ アクティベーションファイルのインポート

[ライセンスアクティベーション] ダイアログにて、インポートするライセンスキーを入力します。

次に、[インポート] をクリックします。

手順⑧でダウンロードしたアクティベーションファイルを選択して [開く] をクリックしてください。



⑪ アクティベート

ライセンスの認証が完了し、アクティベーション成功のダイアログが表示されます。

⑫ LMTools の起動

以下の手順にて [LMTOOLS] ダイアログを開きます。

Windows Server 2016、2019、2022 の場合

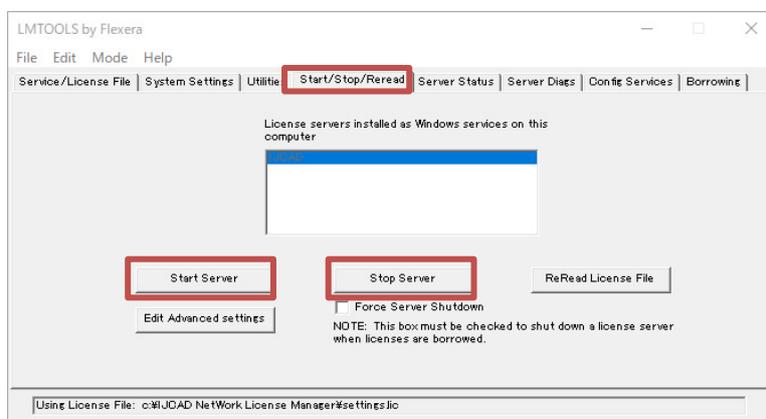
[スタート] → [IJCAD Network License Manager] → [LMTools] を選択します。

⑬ LMTools の再起動

[Start/Stop/Restart] タブを開きます。

まず [Stop Server] ボタンをクリックしてライセンスマネージャーを止め、次に [Start Server] ボタンをクリックして、ライセンスマネージャーを再起動してください。

再起動を行うことで、設定内容が反映されます。



- ※ 再起動後は、完全にサービスがスタートするまでに、2~3分ほどお時間がかかる場合があります。再起動後、数分時間を置いてからクライアントの認証を開始してください。
- ※ この操作を行ってもクライアントからライセンスの取得をできない場合や、他の FlexNet Licensing を利用しているアプリがある場合は、サーバーマシンの再起動が必要となります。

3-2. 冗長型ライセンスサーバー（サーバーの設定）

冗長型ライセンスサーバーを設置する場合、メインサーバー1台、サブサーバー2台の計3台のサーバーを同じサブネット上に用意する必要があります。

※ <例>

メインサーバー：192.168.0.●●

サブサーバー1：192.168.0.▲▲

サブサーバー2：192.168.0.■■

ライセンス登録を行う前に、すべてのサーバーへ本製品をインストールしておいてください。

※ 冗長型で申請されたライセンスキー・シリアルキーは、シングルサーバーでの利用に切り替えることはできません。

① EXE ファイルの用意

メインサーバー、サブサーバーの hostID と hostname を取得します。

以下のいずれかの方法で、情報取得用のファイル [lmhostid.exe] を用意してください。

WEB ページから入手

本製品のダウンロードページより、[lmhostid.zip] をダウンロードします。ダウンロードしたファイルを各サーバーにコピーし、解凍を行ってください。

インストール DVD から入手

インストール DVD を読み込みます。以下のフォルダから、[lmhostid.exe] をそれぞれのサーバーにコピーしてください。
D:¥NLM¥Tool¥マシン名取得ツール

② コマンドプロンプトを起動

コマンドプロンプトを**管理者として起動**します。

③ hostID の取得

コマンドプロンプトにて、[lmhostid.exe] のパスを入力し、[Enter] を押して実行します。hostID が表示されます。

例：パスが「C:¥」の場合

```
C:¥Users¥Administrator>C:¥lmhostid.exe
lmhostid - Copyright (c) 1989-2010 Flexera Software, Inc. All Rights Reserved.
The FLEXnet host ID of this machine is "00000xx00000"
```

※ hostID は、12桁の数字です。

※ 2つ以上の hostID が表示される場合は、コマンドプロンプトの「ipconfig /all」に表示されているものを申請に使用してください。

④ hostname の取得

次に、コマンドプロンプトにて、[lmhostid.exe] のパスを入力後、『（半角スペース）-hostname』と入力し [Enter] を押して実行します。hostname が表示されます。

例：パスが「C:¥」の場合

```
C:¥Users¥Administrator>C:¥lmhostid.exe -hostname
lmhostid - Copyright (c) 1989-2010 Flexera Software, Inc. All Rights Reserved.
The FLEXnet host ID of this machine is "HOSTNAME=A-01"
```

⑤ ポートの決定

使用するポート番号を決めます。

27000 から 27009 までの中から、他のアプリケーションで使用していないポートを選択してください。（デフォルトは 27000 に設定されています）

①～⑤までの作業を 3 台のサーバー全てで行ってください

⑥ メールで申請

申請書をダウンロードし、ご記入の上、メールに添付して、インテリジャパンに送付します。

申請書の入手

本製品のダウンロードページより PDF をダウンロードしてください。

必要な申請書

- ・新規に冗長型サーバーを設置する場合
：1 通（【ネットワーク版】冗長型ライセンス申請書）
- ・既に設置済みの冗長型ライセンスサーバーにライセンスを追加する場合
- ・既に設置済の冗長型サーバー内でライセンスをバージョンアップする場合
：2 通（【ネットワーク版】冗長型ライセンス申請書＋
【ネットワーク版】使用中ライセンス報告書）

申請書を添付の上、activation_support@intelli.jp までお送りください。
ご申請後は、インテリジャパンからの返信をお待ちください。

※ 申請書に記載いただいた以下の情報は、大変お手数ですがメール本文にも記載をお願いいたします。

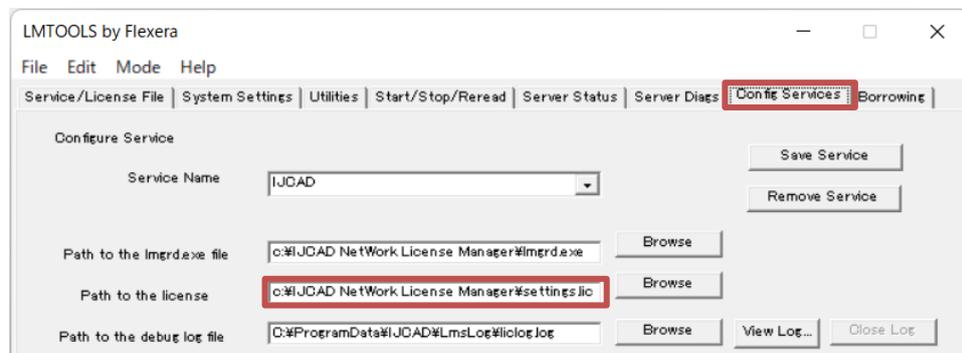
- host ID(メインサーバー・サブサーバー1・サブサーバー2)
- hostname(メインサーバー・サブサーバー1・サブサーバー2)

⑦ ライセンスファイルのコピー

後日、インテリジャパンからライセンスファイル **[settings.lic]** が届きます。
メインサーバーとサブサーバーの以下のフォルダに上書きコピーしてください。

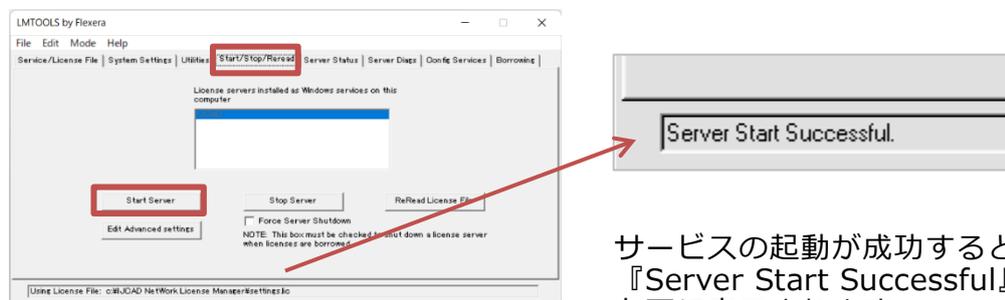
コピー先フォルダ

[LMTOOLS] を起動し、**[Config service]** タブを開きます。
[Path to the license] に設定されているパスを参照してください。



⑧ メインサーバーを起動

[LMTOOLS] の **[Start/Stop/Restart]** タブを開きます。
[Start Server] ボタンをクリックすると、サーバーが起動します。



サービスの起動が成功すると『Server Start Successful』が左下に表示されます。

⑨ サブサーバーを起動

サブサーバー2台を手順⑧と同様の操作でスタートします。

3-3. 冗長型ライセンスサーバー（クライアントの設定）

冗長型ライセンスサーバーの場合は、クライアントの設定が通常と異なります。

① ダイアログの起動

IJCAD を起動します。

[IJCAD ライセンス登録] ダイアログが開きます。
[ネットワークライセンス] を選択して、
[OK] をクリックしてください。



② サーバー指定

サーバー名に以下の文字列を入力します。

メインサーバーのポート番号@メインサーバーのサーバー名,
サブサーバー1 のポート番号@サブサーバー1 のサーバー名,
サブサーバー2 のポート番号@サブサーバー2 のサーバー名,

※各サーバーの情報は、カンマで区切ります。

ポートは 27000（デフォルト）のまま構いません。

[OK] をクリックすると、ネットワークライセンスマネージャーに接続し、ライセンスが認証されます。

※ 冗長型ライセンスサーバーの場合は接続テストをクリックしても正常に動作しません。
(すべて接続エラーとなります)



例 : 27000@192.168.0.17,
27000@192.168.0.18,
27000@192.168.0.19

4. ライセンスの移行

ネットワークライセンスマネージャーにおいて、別のマシンへのライセンスの移動、OSの入れ替え、またはやむを得ずライセンスキーに対応したライセンス数を変更する必要がある場合、ライセンスを一旦返却していただいた後、再度アクティベーションを行っていただく必要があります。

- ※ **万が一、パソコンの故障などにより、移行時のライセンス返却が困難な場合は、インテリジャパンまでご相談ください。**
- ※ **ライセンス返却前および移行前には、貸出ライセンスを返却する必要があります。**

ライセンスの返却を行った後、再度ライセンスを設定するまでの間は、IJCADを起動できません。

ただし、現在のサーバーから、新規のサーバーへ移行する場合は、インテリジャパンよりサーバー移行支援ライセンスを発行することで、移行作業中にもIJCADを起動させることが可能です。サーバー移行支援ライセンスの発行は、インテリジャパン (activation_support@intelli.jp) までご依頼ください。

● シングルライセンスサーバー同士の移行

現在のサーバーにてライセンス返却を行ってから、再度ライセンスの発行を依頼してください。

① シングルライセンスサーバーのライセンス返却

⇒ 『[4-1. シングルライセンスサーバーの返却](#)』をご参照ください。

② シングルライセンスサーバーのライセンス登録

⇒ 『[3-1. シングルライセンスサーバー](#)』をご参照ください。

● シングルライセンスサーバーから冗長型ライセンスサーバーへの移行

先にシングルライセンスサーバーにてライセンス返却を行ってから、冗長型ライセンスサーバーにてライセンスの発行を依頼してください。

① シングルライセンスサーバーのライセンス返却

⇒ 『[4-1. シングルライセンスサーバーの返却](#)』をご参照ください。

② 冗長型ライセンスサーバーのライセンス申請および設定

⇒『[3-2. 冗長型ライセンスサーバー（サーバーの設定）](#)』、
『[3-3. 冗長型ライセンスサーバー（クライアントの設定）](#)』を
ご参照ください。

冗長型ライセンスサーバーにて返却を行う場合は、申請書が必要です。インテリジャ
パン(activation_support@intelli.jp)まで以下をお送りください。

申請書の入手

本製品のダウンロードページより PDF をダウンロードしてください。

必要な申請書

: 2 通（【ネットワーク版】冗長型ライセンス申請書 +
【ネットワーク版】使用中ライセンス報告書）

以下では、シングルライセンスサーバーの返却方法をご説明します。

4-1. シングルライセンスサーバーの返却

① サーバライセンス管理者ツールの起動

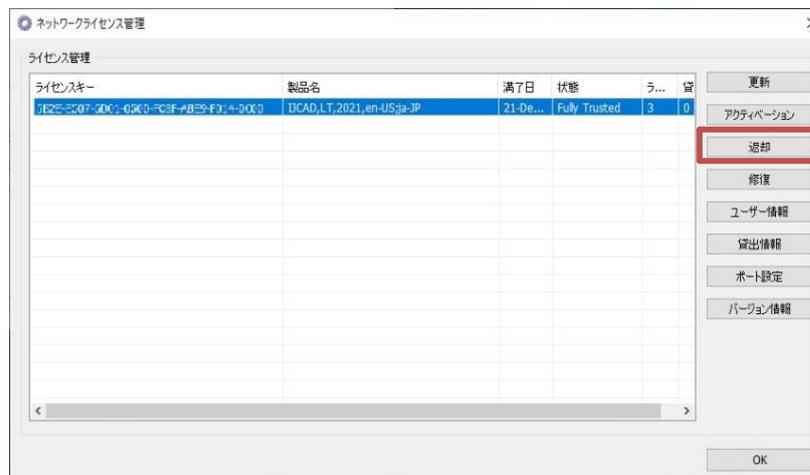
以下の手順にて [ネットワークライセンス管理] ダイアログを開きます。

Windows Server 2016、2019、2022 の場合

[スタート] → [IJCAD NetWork License Manager] → [IJCAD License
Manager(server)] を選択します。

② 返却ライセンスを選択

返却するライセンスを選択した状態で、[返却] をクリックします。



③ 返却ファイルのエクスポート

ライセンスキーの欄に、
返却するライセンスのライセンスキーが
入力されていることを確認し
[エクスポート] をクリックします。

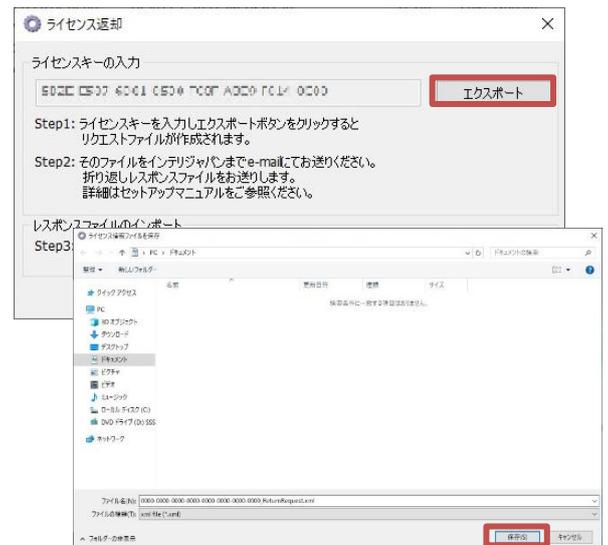
[ライセンス情報ファイルを保存]
ダイアログにて
返却ファイルの保存先を選択し、
[保存] をクリックします。

ファイル名の初期値は
『<ライセンスキー>
_ReturnRequest.xml』です。
ファイル名は変更しないでください。



エクスポートを行うと
ライセンスは失効し、
「状態」が『**Disabled**』になります。

※ この状態ではまだ返却は完了しておりませんので、アンインストールは
行わないでください。



④ メールで申請

メールにて、以下の内容をインテリジャパンに送付します。

- | | |
|-------|----------|
| ・会社名 | ・シリアルキー |
| ・担当者名 | ・ライセンスキー |
| ・電話番号 | ・返却理由 |

以上をメール本文にご記入の上、返却ファイルを添付して
activation_support@intelli.jp までお送りください。
ご申請後は、インテリジャパンからの返信をお待ちください。

⑤ 返却承認ファイルの受け取り

手続きが完了次第、インテリジャパンから返却承認ファイルが届きます。

インテリジャパンでは、返却承認ファイルの送付をシステムより行っておりますので、ファイルが添付ファイルとして受信されず、メール本文中にリンクとして表示されます。(メールソフトによっては添付ファイルとして認識する場合があります。)

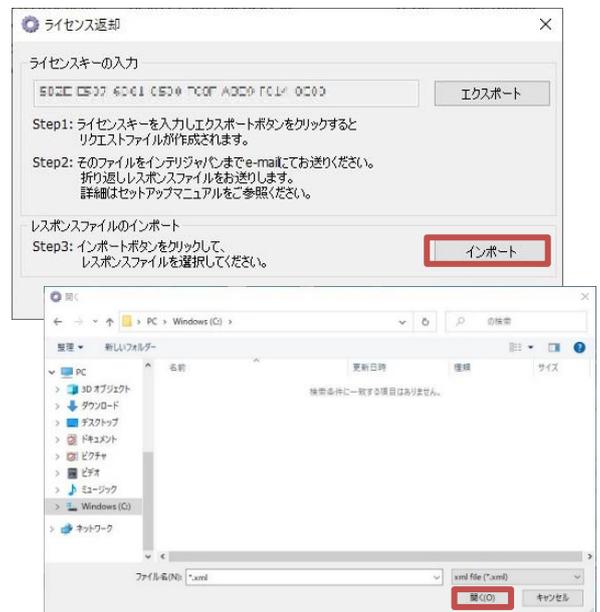
ファイル名は『 <ライセンスキー>-resp-svr-return.xml 』です。
ファイル名のリンクをクリックすると、ファイルのダウンロードが出来ます。

※ 最下部にある『 <ライセンスキー>_ReturnRequest.xml 』のリンクとお間違えのないようご注意ください。

⑥ 返却承認ファイルのインポート

手順①～②と同様の操作で、
[ライセンス返却] ダイアログを開きます。
[インポート] をクリックしてください。

[開く] ダイアログにて手順⑤でダウンロードした返却承認ファイルを選択し、[開く] をクリックします。



⑦ 返却の完了

[ネットワークライセンス管理] ダイアログからライセンスの情報が削除され、返却が完了します。

5. ライセンスの修復

ネットワークライセンスマネージャーにおいて、何らかの原因によりライセンスが破損状態になると、状態は[**BROKEN**]として表示されます。

状態
BROKEN...

ライセンスが破損状態になった場合は、ライセンスを修復する必要があります。

5-1. 修復手順

① サーバーライセンス管理者ツールの起動

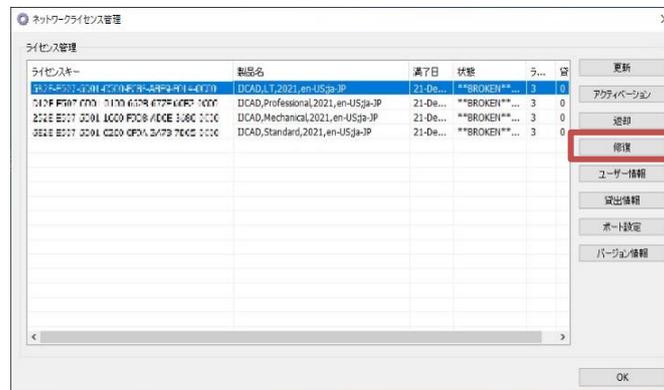
以下の手順にて [ネットワークライセンス管理] ダイアログを開きます。

Windows Server 2016、2019、2022 の場合

[スタート] → [IJCAD NetWork License Manager] → [IJCAD License Manager(server)] を選択します。

② 修復ライセンスを選択

修復するライセンスを選択した状態で、[修復] をクリックします。

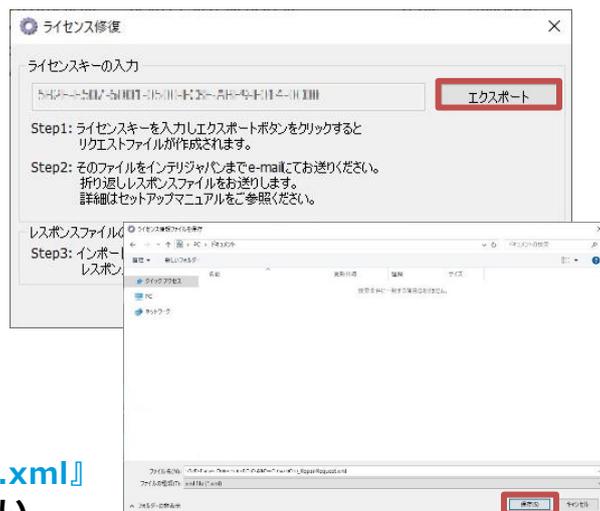


③ 修復ファイルのエクスポート

ライセンスキーの欄に、
返却するライセンスのライセンスキーが
入力されていることを確認し
[エクスポート] をクリックします。

[ライセンス情報ファイルを保存]
ダイアログにて
返却ファイルの保存先を選択し、
[保存] をクリックします。

ファイル名の初期値は
『<ライセンスキー>_RepairRequest.xml』
です。ファイル名は変更しないでください。



④ メールで申請

メールにて、以下の内容をインテリジャパンに送付します。

- | | |
|-------|----------|
| ・会社名 | ・シリアルキー |
| ・担当者名 | ・ライセンスキー |
| ・電話番号 | ・修復理由 |

以上をメール本文にご記入の上、修復ファイルを添付して
activation_support@intelli.jp までお送りください。
ご申請後は、インテリジャパンからの返信をお待ちください。

⑤ 修復承認ファイルの受け取り

手続きが完了次第、インテリジャパンから修復承認ファイルが届きます。

インテリジャパンでは、返却承認ファイルの送付をシステムより
行っておりますので、ファイルが添付ファイルとして受信されず、
メール本文中にリンクとして表示されます。
(メールソフトによっては添付ファイルとして認識する場合があります。)

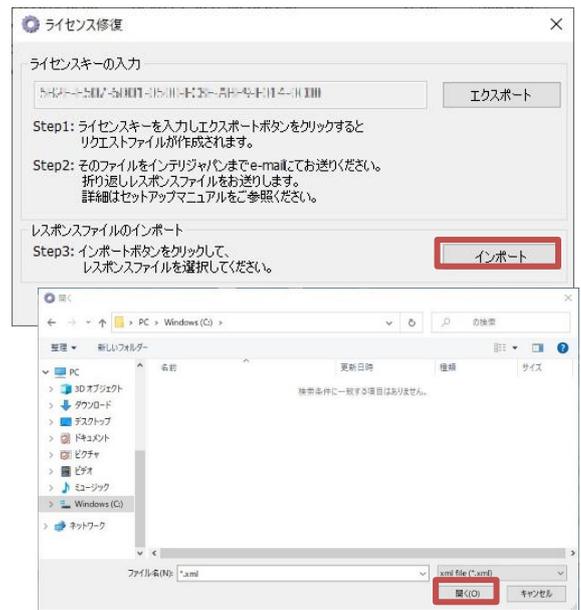
ファイル名は『<ライセンスキー>-resp-svr-return.xml』です。
ファイル名のリンクをクリックすると、ファイルのダウンロードが出来ます。

※ 最下部にある『<ライセンスキー>_RepairRequest.xml』のリンクと
お間違えのないようご注意ください。

⑥ 修復承認ファイルのインポート

手順①～②と同様の操作で、
 [ライセンス修復] ダイアログを
 開きます。
 [インポート] をクリックしてください。

[開く] ダイアログにて手順⑤で
 ダウンロードした修復承認ファイルを選
 択し、[開く] をクリックします。



⑦ 返却の完了

[ネットワークライセンス管理] ダイアログにて、ライセンスの状態が
 [Fully Trusted]に変更され、修復が完了します。

⑧ LMTools の起動

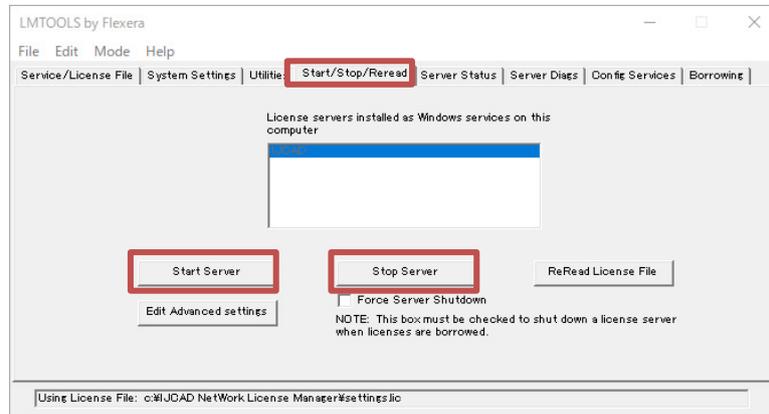
以下の手順にて [LMTOOLS] ダイアログを開きます。

Windows Server 2016、2019、2022 の場合

[スタート] → [IJCAD Network License Manager] →
 [LMTools] を選択します。

⑨ LMTools の再起動

[Stop Server] ボタンをクリックしてライセンスマネージャーを止め、次に [Start Server] ボタンをクリックして、ライセンスマネージャーを再起動してください。
再起動を行うことで、設定内容が反映されます。



- ※ 再起動後は、完全にサービスがスタートするまでに、2~3分ほどお時間がかかる場合があります。再起動後、数分時間を置いてからクライアントの認証を開始してください。

6. タイムアウトの設定

6-1. タイムアウトについて

旧 Ver.1.5 以降のライセンスマネージャーでは、タイムアウト機能が追加されています。

タイムアウト機能は、ライセンスを認証中のクライアントのパソコンで設定時間以上 IJCAD の操作が行われていない場合に、自動的にライセンスを開放してサーバーに返却する機能です。

(動作状態の検出はマウスやキーボードによる入力や印刷の動作により行われます。)

6-2. タイムアウトの時間の設定方法

① 【ユーザー設定】ツールの起動

以下の手順にて【ユーザー設定】ダイアログを開きます。

Windows Server 2016、2019、2022 の場合

[スタート] → [IJCAD NetWork License Manager] → [ユーザー設定] を選択します。

2020/2/1 公開版より前のネットワークライセンスマネージャーで設定する場合

インストールフォルダ内にある【userset.ini】ファイルをテキストエディタで開きます。

デフォルト設定の場合、インストールフォルダは以下のパスとなります。

⇒C:¥IJCAD NetWork License Manager



② タイムアウト時間を設定

[タイムアウト時間を設定 (分)] に
タイムアウトの数値を[1-999999999]
の間の数値で入力してください。

[OK] をクリックして設定を保存
します。

2020/2/1 公開版よりも前のネットワークライセンスマネージャーで 設定する場合

[usertimeout] の値に時間を分単位の整数値で入力してください。
(この値が未設定または 0 の場合は Timeout の処理は行われません)

[上書き保存] で、設定を上書きします。

```
[TIMEOUT]
usertimeout = 10|
[NETWORK]
NoStart = 0
```

③ LMTools の起動

以下の手順にて [LMTOOLS] ダイアログを開きます。

Windows Server 2016、2019、2022 の場合

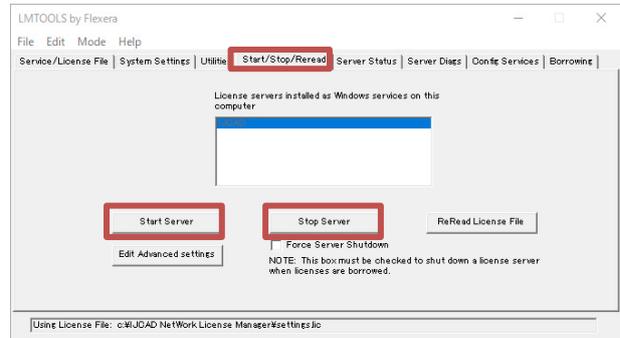
[スタート] → [IJCAD Network License Manager]
→ [LMTools] を選択します。

④ LMTools の再起動

[Start/Stop/Restart] タブを開きます。

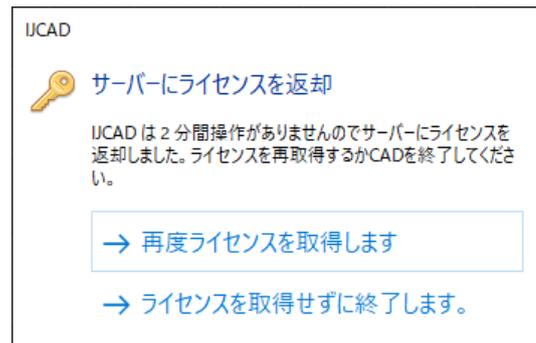
まず [Stop Server] ボタンをクリックしてライセンスマネージャーを止め、次に [Start Server] ボタンをクリックして、ライセンスマネージャーを再起動してください。

再起動により、設定内容が反映されます。



クライアントの IJCAD にて、サーバー側で設定した時間以上カーソルやキー入力および印刷の操作がない場合、確認のダイアログが表示されます。

※ このダイアログが表示されると共にライセンスはサーバーに返却されます。



7. ライセンス超過時の処理

7-1. ライセンス超過時の処理について

旧 Ver.1.5 以降のライセンスマネージャーでは、クライアントから要求されたライセンスが既に許諾されたライセンス数を超過してしまった場合のクライアントの挙動を変更することができます。

初期設定では体験版として起動します。

(IJCAD の体験版は体験期間が終了していてもファイルの保存や書き出しができないビューアとして動作します)

7-2. ライセンス超過時の挙動の設定方法

① ユーザー設定ツールの起動

以下の手順にて [ユーザー設定] ダイアログを開きます。

Windows Server 2016、2019、2022 の場合

[スタート] → [IJCAD NetWork License Manager] → [ユーザー設定] を選択します。

2020/2/1 公開版よりも前のネットワークライセンスマネージャーで設定する場合

インストールフォルダ内にある [userset.ini] ファイルをテキストエディタで開きます。

デフォルト設定の場合、インストールフォルダは以下のパスとなります。

⇒C:¥IJCAD NetWork License Manager

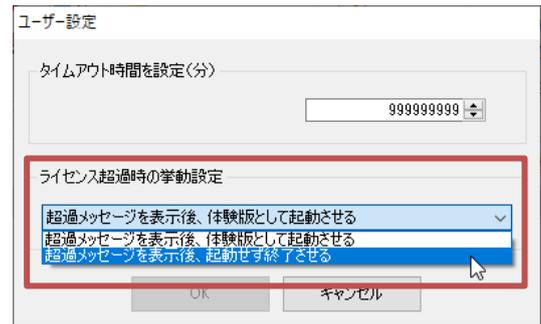


② ライセンス超過時の挙動設定

[ライセンス超過時の挙動設定] で超過時の挙動を選択します。

- ・ 超過メッセージを表示後、体験版として起動させる
- ・ 超過メッセージを表示後、起動せず終了させる

[OK] をクリックして設定を保存します。



2020/2/1 公開版よりも前のネットワークライセンスマネージャーで設定する場合

[NoStart] の値に設定します。

下図を参考に、[NoStart] の値に『0』か『1』を入力してください。

- 0 : IJCAD は体験版として起動します
- 1 : IJCAD は起動せず、
超過状態のメッセージ表示後に終了します

[上書き保存] で、設定を上書きします。

```
[TIMEOUT]
usertimeout = 10|
[NETWORK]
NoStart = 0
```

③ LMTools の起動

以下の手順にて [LMTTOOLS] ダイアログを開きます。

Windows Server 2016、2019、2022 の場合

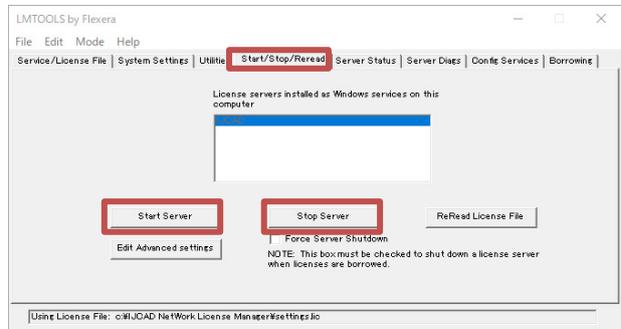
[スタート] → [IJCAD Network License Manager] → [LMTools] を選択します。

④ LMTools の再起動

[Start/Stop/Restart] タブを開きます。

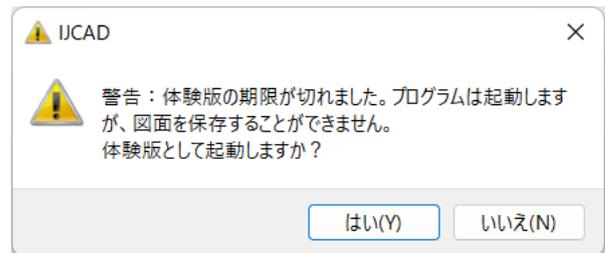
まず [Stop Server] ボタンをクリックしてライセンスマネージャーを止め、次に [Start Server] ボタンをクリックして、ライセンスマネージャーを再起動してください。

再起動により、設定内容が反映されます。

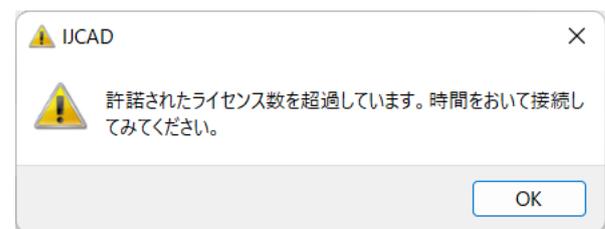


ライセンスを超過した時に、それぞれの設定に応じて以下のメッセージが表示されます。

- 超過メッセージを表示後、体験版として起動させる



- 超過メッセージを表示後、起動せず終了させる



8. プログラムのアンインストール

8-1. アンインストールの前の注意

アンインストールを行う際は、事前に必ず以下の定義ファイルのバックアップを行ってください。

(全てインストールフォルダ内に存在しているファイルです。インストールフォルダ以外の場所に保存してください。)

- | | |
|-----------------------|---------------------------------|
| • gstarlms.opt | オプションファイル (存在しない場合があります) |
| • userset.ini | ユーザ定義ファイル (旧 Ver 1.5 より追加されました) |
| • settings.lic | ポートの設定ファイル |
| • liclog.log | ログファイル |

再インストール後、インストールフォルダ内のファイルに上書きを行うことでデータを引き継ぐことができます。

また、**ライセンス管理プログラムを利用している場合は、事前にサービスを停止しておく必要があります。**(サービスの停止方法は、[ライセンス管理プログラム セットアップマニュアル] をご参照ください)

同一サーバー内でネットワークライセンスマネージャーの更新を行う場合には IJCAD ヘルプセンター内の下記記事をご確認の上作業をお願いいたします。

【ネットワーク版】ライセンスマネージャー更新手順

<https://support.ijcad.jp/hc/ja/articles/115000077382>

8-2. アンインストール手順

① ネットワークライセンスサービスの停止

Windows のスタート画面より、[LMTTools] を起動します。

[Start/Stop/Restart] タブを開き、[Stop Server] をクリックして停止してください。

サービスが停止すると左下に『Stopping Server』と表示されます。

サービスが停止できない場合は、
[Force Server Shutdown] の
チェックボックスを ON にしてから
[Stop Server] クリックして
サービスを停止します。

サービスの停止が完了したら、
[LMTools] を閉じてください。



② アンインストールの画面へ

コントロールパネルを開き、[プログラムのアンインストール] を選択します。



③ アンインストール

リストより [IJCAD ライセンス管理プログラム] を選択した状態でマウスを
右クリックし、表示されるメニューから [アンインストール] をクリックして
ください。

インストーラが起動し、確認のメッセージが表示されますので [はい] を
クリックしてください。



④ アンインストールの完了

完了のダイアログが表示されたら、[完了] ボタンをクリックして終了です。

9. サブスクリプションライセンスについて

メンテナンス・サブスクリプションのご契約により取得されたライセンスは、IJCAD 2023 だけでなく、従来製品 IJCAD 2013 ~ 2022 のライセンスとしてもご利用いただくことができます。

そのため、旧ライセンスにて使用されていた製品も、引き続きご利用が可能です。

9-1. サブスクリプションライセンスの登録

ライセンスのご登録とご返却は同時にご申請いただくことも可能ですが、認証用のファイルのご送付に数日かかる場合もございます。

その期間中ライセンスのご使用ができなくなりますので、メンテナンス・サブスクリプション用のライセンスのご登録後に、旧ライセンスをご返却いただくことをおすすめいたします。

本マニュアルの『[3. ライセンスの登録](#)』をご参照の上、ライセンスの認証を行ってください。

ライセンスの情報は、メールにて送付された PDF ファイルをご確認ください。

メンテナンス・サブスクリプションライセンスの登録を行うと、IJCAD 2024 だけでなく、IJCAD 2013 ~ 2023 もライセンスを認証することが可能となります。

9-2. サブスクリプションライセンスの返却

メンテナンス・サブスクリプションのライセンスを認証後は、新しいライセンスと旧ライセンスの合計数のライセンスが稼働している状態になります。

そのため、**メンテナンス・サブスクリプション用のライセンスの認証が完了後は、旧ライセンスの返却を必ず行ってください。**

返却方法は、本マニュアルの『[4. ライセンスの移行](#)』をご参照ください。

製品名
IJCAD Pro/2021/ENG_JPN
IJCAD Pro/2022/ENG_JPN

例) この時点で、「IJCAD 2021」と「IJCAD 2022」のライセンスが登録されている状態です。

この場合は、「**IJCAD 2021**」のライセンスを選択して、返却を行ってください。